

# (仮称)秋田公立美術大学への編入に関するアンケートについて

平成 2 4 年 1 月 2 4 日

秋 田 市 大 学 設 置 準 備 室

## 1 調査の目的

秋田市では、平成 2 5 年 4 月に秋田公立美術工芸短期大学を 4 大化する計画を進めるにあたり、美短在学 1 年生を対象に、新大学への 3 年次編入等についてのアンケートを実施し、新大学編入に関する基礎資料とするものである。

## 2 調査対象

秋田公立美術工芸短期大学 1 年生148人 回答者数111人（回答率：75.0%）

## 3 調査時期

平成 2 4 年 3 月に、大学設置認可申請書の編入予定人数等に反映させるため、平成 2 4 年 1 月に調査票を配布し、調査票を回収後、結果をまとめる。

## 4 調査方法

調査は、無記名式（出身地は記述）で行い、調査票は 1 月 20 日および 1 月 23 日に、美短事務局職員が授業の前に配布し、記入後回収した。

## 5 調査票

別紙

## 6 調査結果

別紙

# (仮称)秋田公立美術大学への編入に関するアンケート調査票

秋田市大学設置準備室

秋田市では、地域の伝統・文化をいかし、秋田から世界へ発信するグローバルな人材を育成すること等を目的に、秋田公立美術工芸短期大学を改組し、新たに(仮称)秋田公立美術大学を設置する計画を進めております。このアンケート調査はその一環として、学生の皆さんに新大学への3年次編入等についてお聞きし、新大学編入に関する基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願い致します。

なお、このアンケートの結果は統計資料としてのみ用います。個別の調査票を外部の人に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に、該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

設置予定学部：美術学部美術学科 入学定員 100人(予定)

3年次編入：10人程度(予定)

設置予定時期：平成25年4月

上記の構想は現在検討中であり、決まったものではありません。

問1 あなたの出身は、どこですか。次の中から、1つだけ選んでください。

【回答欄】

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 秋田市内         | 7 近畿地方        |
| 2 秋田県内(秋田市を除く) | 8 中国地方        |
| 3 東北地方(秋田県を除く) | 9 四国地方        |
| 4 北海道地方        | 10 九州地方       |
| 5 関東地方         | 11 その他(具体的に ) |
| 6 中部地方         |               |

問2 あなたは短大卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 4年制大学への編入学 | 3 就職         |
| 2 専攻科進学      | 4 その他(具体的に ) |

問3 問2で「1 4年制大学への編入学」を選んだ方にお聞きします。(仮称)秋田公立美術大学に3年次編入を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。それ以外の方は、問6にお進みください。

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 1 編入を希望する        | 4 わからない      |
| 2 進路の候補の一つとして考える | 5 その他(具体的に ) |
| 3 他大学への編入学を希望する  |              |

問4 問3で「1 編入を希望する」「2 進路の候補の一つとして考える」を選んだ方にお聞きします。「3 他大学への編入学を希望する」を選んだ方は問5へ、「4 わからない」「5 その他」を選んだ方は問6へお進みください。

(仮称)秋田公立美術大学の5つの専攻(別紙参照)のうち、興味を感じたものを次の中から1つだけ選んでください。

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 アート&ルーツ専攻   | 4 コミュニケーションデザイン専攻 |
| 2 ビジュアルアーツ専攻  | 5 景観デザイン専攻        |
| 3 ものづくりデザイン専攻 | 6 わからない           |

記入後は、問6へお進みください。

問5 問3で「3 他大学への編入学を希望する」を選んだ方にお聞きします。編入を希望する大学の所在は、どこですか。次の中から、1つだけ選んでください。

- |                |             |                          |   |
|----------------|-------------|--------------------------|---|
| 1 秋田市内         | 7 近畿地方      | <input type="checkbox"/> |   |
| 2 秋田県内（秋田市を除く） | 8 中国地方      |                          |   |
| 3 東北地方（秋田県を除く） | 9 四国地方      |                          |   |
| 4 北海道地方        | 10 九州地方     |                          |   |
| 5 関東地方         | 11 その他（具体的に |                          | ） |
| 6 中部地方         |             |                          |   |

問6 （仮称）秋田公立美術大学について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

\*\*\* これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*

アンケートに関するお問い合わせ 秋田市大学設置準備室 018 - 866 - 2028

# (仮称)秋田公立美術大学の概要について

秋田市では、「芸術・文化をいかしたまちづくり」に取り組んでいます。

その中核になるように、現在の「秋田公立美術工芸短期大学」を、平成25年4月を目標に美術系4年制大学にする準備を進めています。

新しい「(仮称)秋田公立美術大学」は、美術学部美術学科の中に5つの専攻を置く構成を考えており、これまでの芸術分野にとらわれない新しい芸術を創り出すアーティスト、地域の伝統・文化をまちづくりに活かせるアーティストを育成します。

## 教育上の特色について

### 特色

1～2年次は素材や技法の枠組み( )を越えて、大学で扱う全ての範囲を横断的に学べるユニークなカリキュラム

3～4年次は芸術表現の目的別に5つの専攻に分かれ、専門の技術・知識を深めます。

美術(油絵、日本画、彫刻、メディアアート、インスタレーションetc)、工芸(金属、ガラス、陶磁、漆、木工、染)、デザインetc

### 特色

卒業後の就職や独立を手厚くサポートするキャリア教育

現代社会人として求められる知識や情報処理能力、プレゼン能力などを身に付けるほか、自分の進路について深く考えることができます。

### 特色

秋田の伝統文化( )をキーにして、日本の地域文化への理解を深め、現代の美術として再構築するという独自の教育理念

多様な価値観と柔軟な思考を持つグローバルな人材を育てます。

もくめがね  
銀線細工、空目銅、秋田蘭画、川連漆器、秋田蒔摺り、全国最多の重要無形文化財etc

## カリキュラム図

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目	[Blue shaded area]							
キャリア教育科目	[Blue shaded area]							
専門共通科目	[Blue shaded area]							
専門専攻科目	[Blue shaded area]							
卒業研究	[Blue shaded area]							
教職/学芸員課程科目	[Blue shaded area]							

就職  
独立

5つの専攻の詳しい内容については裏面へ！



表現の目的別に分かれた5つの専攻（3年次に選択）

ものづくりデザイン

コミュニケーションデザイン

地域固有の素材や技術などを現代の工業デザインの視点で捉え直し、地方色豊かな新製品を提案する

視覚媒体を使った「コミュニケーション・デザイン」の技法を幅広く学び、広告やテレビCMなどを企画制作する

地域の歴史的な文化資源（ルーツ）を調査・研究して、その再評価の中で新たな芸術表現を探求する

「美しい街並や風景のデザイン」を通して、美しく快適でにぎわいあふれたまちづくりの計画を立案する。

サブカルチャー的な芸術表現など、現代美術の新しい方向性について、様々な素材や媒体を使って模索する

アート&ルーツ

景観デザイン

ビジュアルアーツ

教育の概要

「基礎理論」「作品制作」「フィールドワーク」の3つによって、地域の文化と歴史や日本固有の技法を学び、調査研究の成果を作品制作に活かします。

講義・演習の例

- ・文化人類学
- ・石彫、テラコッタ彫刻
- ・日本画
- ・アートプロジェクト演習

教育の概要

世代を超えて愛される、使用して充足感が得られるような生活耐久財というコンセプトのもとで、家具から装身具までの多様な製品を制作。独自ブランド化を目指します。

講義・演習の例

- ・「木材、漆」
- ・「金属」
- ・「ガラス、陶磁」
- ・「染」

教育の概要

景観デザインの考え方をもとに、まちづくりにおける課題を発見し解決するための知識・週報を学び、ワークショップなどの演習を通じて地域社会での実践力を養います。

講義・演習の例

- ・CAD演習
- ・都市デザイン論
- ・景観デザイン演習
- ・文化行政学

教育の概要

文字・写真・CG・イラストレーション等のツールを習熟して、優れた伝達表現やデザイン全体を構築する総合的なディレクションを可能にします。

講義・演習の例

- ・タイポグラフィ
- ・編集デザイン
- ・ポスター
- ・パッケージデザイン
- ・ウェブデザイン

教育の概要

堅苦しく鑑賞する美術から、「明解さ」「愉快さ」を持ち体で感じるエンターテイメントへの移行を目指し、媒体にとらわれない現代的な作品を制作します。

講義・演習の例

- ・現代絵画、立体造形
- ・イラストレーション、絵本
- ・デジタルメディアアート
- ・インスタレーション
- ・ポップアート

- ・アーティスト
- ・アートディレクター
- ・美術研究者
- ・評論家
- ・ギャラリスト
- ・学芸員、教員

- ・アーティスト
- ・家具メーカー
- ・ガラス製造業
- ・ジュエリーメーカー
- ・陶磁器製造業
- ・学芸員、教員

- ・アーティスト
- ・デザイン事務所
- ・行政機関
- ・建築設計事務所
- ・広告代理店
- ・学芸員、教員

- ・アーティスト
- ・デザイン事務所
- ・イラストレーター
- ・出版印刷会社
- ・メディア関係
- ・ゲーム会社
- ・学芸員、教員

- ・アーティスト
- ・デザイン事務所
- ・イラストレーター
- ・出版社
- ・広告代理店
- ・学芸員、教員

卒業後の進路 …… アーティストとしての自立 ・ 専門性を活かした就職へ

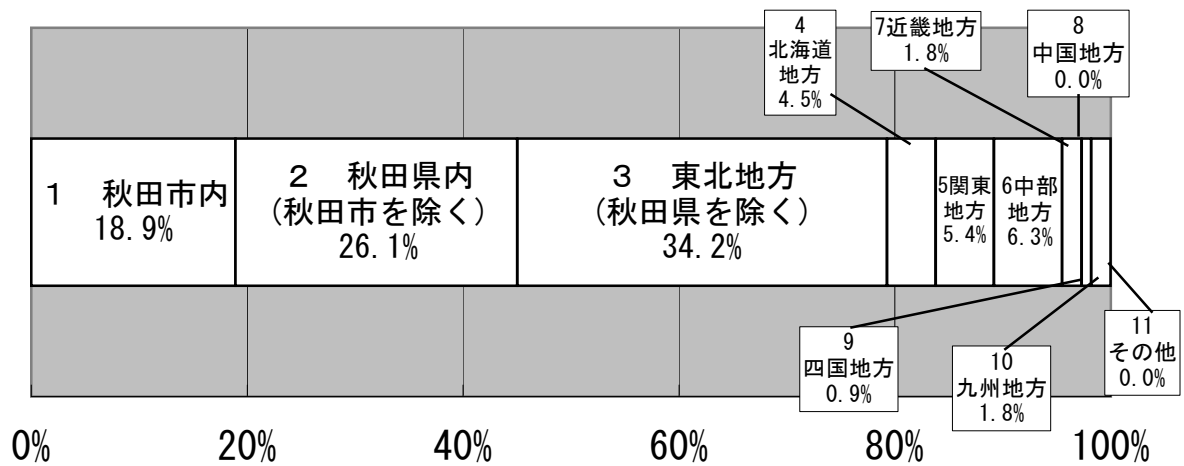
新大学の最新情報や今後の募集についての情報は、秋田市大学設置準備室のHPで発信していきますので、是非ご覧ください。

<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/eu/default.htm>

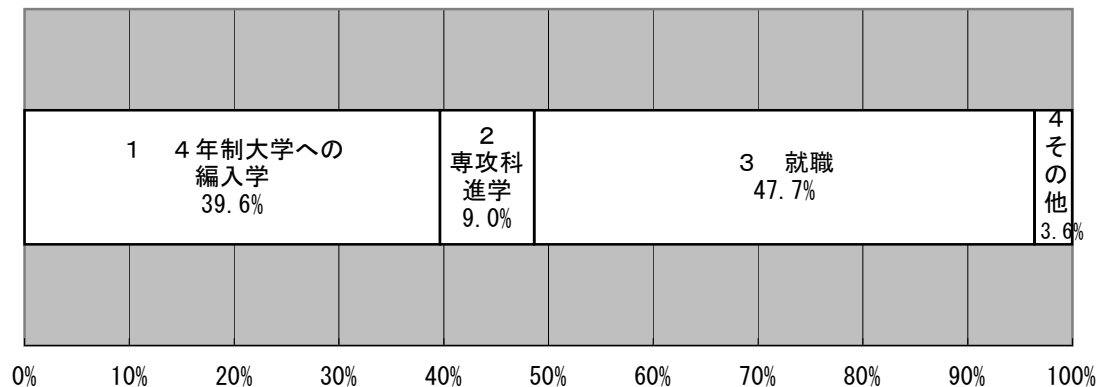
秋田公立美術大学(仮称)の内容については、現在計画中の段階ですので、今後変更される場合があります。

## (仮称)秋田公立美術大学への編入に関するアンケート調査票

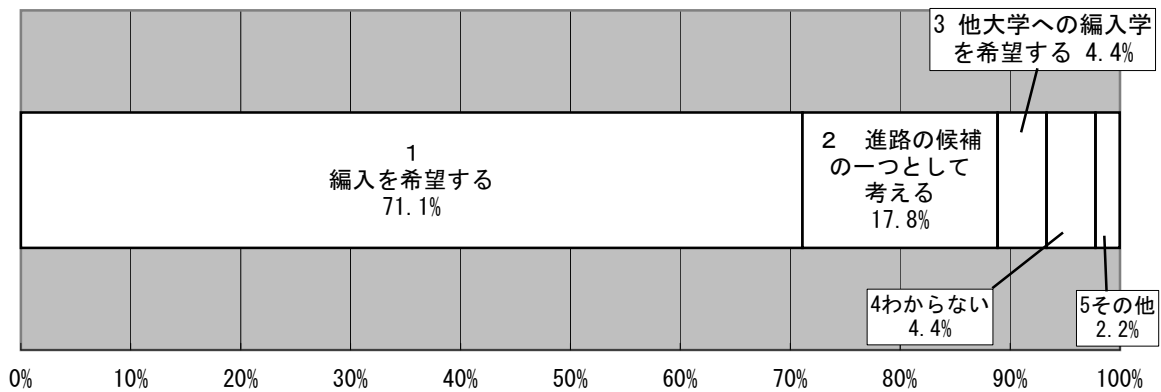
問1 出身地	回答数	割合
1 秋田市内	21	18.9%
2 秋田県内（秋田市を除く）	29	26.1%
3 東北地方（秋田県を除く）	38	34.2%
4 北海道地方	5	4.5%
5 関東地方	6	5.4%
6 中部地方	7	6.3%
7 近畿地方	2	1.8%
8 中国地方	0	0.0%
9 四国地方	1	0.9%
10 九州地方	2	1.8%
11 その他（具体的に）	0	0.0%
計	111	100.0%



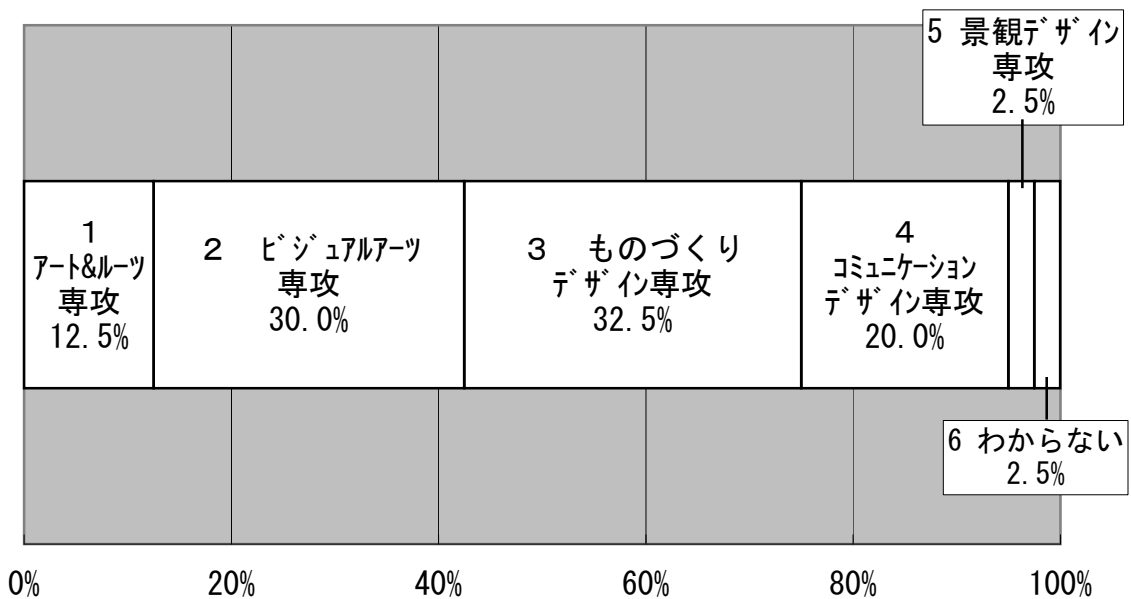
問2 卒業後の進路	回答数	割合
1 4年制大学への編入学	44	39.6%
2 専攻科進学	10	9.0%
3 就職	53	47.7%
4 その他	4	3.6%
計	111	100.0%



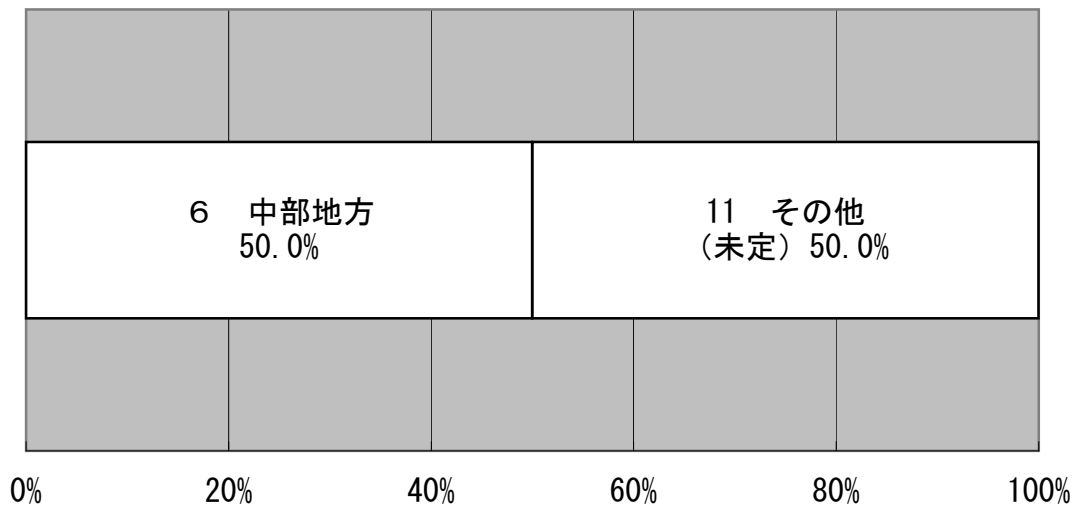
問3 新大学への編入希望	回答数	割合
1 編入を希望する	32	71.1%
2 進路の候補の一つとして考える	8	17.8%
3 他大学への編入学を希望する	2	4.4%
4 わからない	2	4.4%
5 その他	1	2.2%
計	45	100.0%



問4 各専攻への関心	回答数	割合
1 アート&ルーツ専攻	5	12.5%
2 ビジュアルアーツ専攻	12	30.0%
3 ものづくりデザイン専攻	13	32.5%
4 コミュニケーションデザイン専攻	8	20.0%
5 景観デザイン専攻	1	2.5%
6 わからない	1	2.5%
計	40	100.0%



問5 他大学編入希望者の進路	回答数	割合
1 秋田市内	0	0.0%
2 秋田県内（秋田市を除く）	0	0.0%
3 東北地方（秋田県を除く）	0	0.0%
4 北海道地方	0	0.0%
5 関東地方	0	0.0%
6 中部地方	1	50.0%
7 近畿地方	0	0.0%
8 中国地方	0	0.0%
9 四国地方	0	0.0%
10 九州地方	0	0.0%
11 その他	1	50.0%
計	2	100.0%





## 問6 4大化についての意見等(自由記述)

### 3年次編入の定員増加に関する要望

- ・ やっと大学側からも話がでてうれしい。4大化にあたって定員が非常に少なくなるが、改築などでもう少しだけでも多くしてほしい。
- ・ 10人と言わず、初年度は100人でお願いします。
- ・ 絶対になって欲しいし、できるだけ多くの人を編入できるようにしてほしい。
- ・ 3年次編入の人数が少なすぎるのではないかと思います。
- ・ 編入の人数増やしてください。
- ・ 10人の定員は少なすぎはしないか。
- ・ 3年次編入の定員をもっと増やしてほしい。

### 3年次編入の情報提供に関する要望

- ・ 学費などについても、できるだけ早く知りたいです。
- ・ 現在の美短と違い、特色が分かりにくい。工芸ができる、工芸に力を入れている、ではなく、色々学べるもののうちの1つに工芸があるという印象です。あくまでも、プリント1枚読んだだけの意見ですが。日本画が増えたのは良かったです。
- ・ 編入試験は、どのようなものになるのですか。
- ・ 周囲の人に4大化したら編入するか、私たちの扱いはどうなるのかなどと聞かれる機会が多いのですが、私たちに全然情報が入ってこないの、むしろこちらが聞きたいという風になっています。また、未決定の部分が多いとは思いますが、在学生にもう少し情報をいただきたいです。
- ・ 学費はどのくらいかかりますか。今までと同程度の金額でしょうか。工芸だけを専攻できる学科はないのですか。
- ・ もう少し詳しい情報の開示をして欲しいです。
- ・ 編入試験についてなどの対策を早めに知りたい。
- ・ 編入試験に関する詳細をもう少しちゃんと知りたい。
- ・ 4年制へ編入する場合、試験は卒業制作はどうなるか。定員が少ないので、編入できるか心配。

### 大学の施設に関する要望

- ・ 大学の開いている時間、学生食堂の開いている時間、画材の販売など、もう少し改善していただけるとうれしいです。
- ・ 廊下が寒いです。

### その他

- ・ 今のところ専攻科進学を希望しているが、4年制になるならそっちの方の進学も考えている。
- ・ ぜひ3年次に編入したい。

3年次編入学生用の履修モデル（アーツ&ルーツ専攻）

資料34

…必修科目

履修年次		3年次			4年次			計	
		前期 科目名	後期 科目名	後期 科目名	前期 科目名	後期 科目名	後期 科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会				日本文学	2		
		歴史と文化	東北造形史 異文化 コミュニケーション論	2 2		文化人類学	2		
		外国語				英会話 1	1	英会話 2	1
		情報							
		保健体育	スポーツと健康 1	1	スポーツと健康 2	1			
	小計		5		1	3		3	
	キャリア教育科目		地域プロジェクト 演習	1	キャリアデザイン1 情報リテラシー2 プレゼンテーション 演習1	2 1 1	キャリアデザイン2 美術の社会 実践論	2 2	
		小計		1		4	4		0
	合計		6		5	7		3	21
	専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論C (ビジュアルアーツ) 現代芸術論D (コミュニケーション デザイン)	2 2	現代芸術論A (アーツ&ルーツ、 地域文化計画) 現代芸術論B (ものづくり)	2 2		
導入科目			英語による 現代美術評論 1 写真基礎演習	2 1			工芸演習 1 (教職課程)	2	
美術理論・ 美術史科目						日本彫刻史	2	日本美術史 デザイン史	2 2
専門基礎科目		日本画基礎演習 彫刻基礎演習	1 1	彫刻素材 基礎演習 現代絵画 基礎演習 塑像表現 2	1 1 2	英語による 現代美術評論 2 油画基礎演習	2 1	イラストレーション 基礎演習	1
小計			9		8	5		7	
専門専攻科目	アーツ&ルーツ 専攻科目	アーツ&ルーツ演習 1	8	アーツ&ルーツ演習 2 アートプロジェクト 演習	6 2	アーツ&ルーツ演習 3	8		
	卒業研究					卒業研究	10		
	小計		8		8	8		10	
合計		17		16		13		17	
総計		23		21		20		20	

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から8単位以上、  
「歴史と文化」から6単位以上、「外国語」から6単位以上を含め、計24単位以上  
【キャリア教育科目】10単位以上  
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、  
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から  
14単位以上を含め、計56単位以上  
【専門専攻科目】34単位以上  
【合計】124単位以上

※ 卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等における既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

3年次編入学生用の履修モデル（ビジュアルアーツ専攻）

…必修科目

履修年次		3年次				4年次		計			
		前期		後期		前期	後期				
区分		科目名		科目名		科目名	科目名				
共通教育科目	教養科目	人間と社会					日本文学	2			
		歴史と文化	異文化コミュニケーション論	2		東北造形史 文化人類学	2 2				
		外国語				英会話 1	1	英会話 2	1		
		情報									
		保健体育	スポーツと健康 1	1	スポーツと健康 2	1					
		小計		3		1		5		3	12
	キャリア教育科目		地域プロジェクト演習	1	キャリアデザイン 1 情報リテラシー 2 プレゼンテーション演習 1	2 1 1	キャリアデザイン 2 美術の社会実践論	2 2			
		小計		1		4		4		0	9
		合計		4		5		9		3	21
	専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論 C (ビジュアルアーツ) 現代芸術論 D (コミュニケーションデザイン)	2 2	現代芸術論 A (アーツ&クルー、地域文化計画) 現代芸術論 B (ものづくり)	2 2				
導入科目			英語による現代美術評論 1 写真基礎演習	2 1				工芸演習 1 (教職課程)	2		
美術理論・美術史科目							日本美術史 デザイン史	2 2			
専門基礎科目		油画基礎演習	1	現代絵画基礎演習 イラストレーション基礎演習 彫刻素材基礎演習 メディアアート基礎演習	1 1 1 2	日本画基礎演習 英語による現代美術評論 2	1 2	イラストレーション基礎演習 メディアアート基礎演習	1 2		
小計			8		9		3		9	29	
専門専攻科目		ビジュアルアーツ専攻科目	ビジュアルアーツ演習 1	8	ビジュアルアーツ演習 2 古美術研究	8 2	ビジュアルアーツ演習 3	6			
卒業研究							卒業研究	10			
小計		8		10		6		10	34		
合計		16		19		9		19	63		
総計		20		24		18		22	84		

- 卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から8単位以上、  
「歴史と文化」から6単位以上、「外国語」から6単位以上を含め、計24単位以上  
【キャリア教育科目】10単位以上  
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、  
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上  
【専門専攻科目】34単位以上  
【合計】124単位以上

※ 卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等における既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

3年次編入学生用の履修モデル（ものづくりデザイン専攻）

…必修科目

履修年次		3年次			4年次			計	
		前期		後期	前期		後期		
区分		科目名		科目名	科目名		科目名		
共通教育科目	人間と社会		日本文学	2					
	歴史と文化	東北造形史 異文化 コミュニケーション論	2		文化人類学	2			
	外国語				英会話 1	1	英会話 2	1	
	情報								
	保健体育	スポーツと健康 1	1	スポーツと健康 2	1				
	小計		5		3	3		1	12
キャリア教育科目		地域プロジェクト演習	1	キャリアデザイン 1	2	キャリアデザイン 2	2		
				情報リテラシー 2 プレゼンテーション演習 1	1	美術の社会 実践論	2		
	小計		1	4	4			0	9
合計			6	7	7		1	21	
専門科目	総合科目	現代芸術論 C (ビジュアルアーツ) 現代芸術論 D (コミュニケーションデザイン)	2	現代芸術論 A (アーツ&ルーツ、 地域文化計画) 現代芸術論 B (ものづくり) 現代芸術演習 A 2 (景観デザイン)	2				
	導入科目	英語による 現代美術評論 1	2						
	美術理論・ 美術史科目				近代装飾 デザイン史	2	日本美術史 デザイン史 近代デザイン史 特講	2 2 2	
	専門基礎科目	色彩演習	1	商品計画演習	1	DTPデザイン演習 ものづくり 製図演習 英語による 現代美術評論 2	1	地域産業と デザイン 知的財産と運用	2 2
	小計		7	6	6	6		10	29
専門専攻科目	ものづくりデザイン	地域産業演習 プロダクトデザイン 演習 プレゼンテーション 演習 2 ものづくり デザイン演習 1 ものづくり デザイン演習 1 2D・3D CAD演習	1 1 1 3 3 1	ものづくり デザイン演習 2 ものづくり デザイン演習 2	4 4	ものづくり デザイン演習 3	6		
	卒業研究						卒業研究	10	
	小計		10	8	6		10	34	
	合計		17	14	12		20	63	
総計			23	21	19		21	84	

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から8単位以上、  
「歴史と文化」から6単位以上、「外国語」から6単位以上を含め、計24単位以上

【キャリア教育科目】10単位以上

【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、  
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から  
14単位以上を含め、計56単位以上

【専門専攻科目】34単位以上

【合計】124単位以上

※ 卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等における既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

3年次編入学生用の履修モデル（コミュニケーションデザイン専攻）

…必修科目

履修年次		3年次				4年次				計	
		前期		後期		前期		後期			
区分		科目名		科目名		科目名		科目名			
共通教育科目	教養科目	人間と社会				環境と生態	2				
		歴史と文化	異文化コミュニケーション論	2		文化人類学	2				
		外国語				東北造形史	2				
		情報				英会話 1	1	英会話 2	1		
		保健体育	スポーツと健康 1	1	スポーツと健康 2	1					
		小計		3		1		7		1	
	キャリア科目	地域プロジェクト演習	1	キャリアデザイン 1	2	キャリアデザイン 2	2				
				情報リテラシー 2	1	美術の社会実践論	2				
	小計		1		3		4			0	
	合計			4		4		11		1	20
	専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論 C (ビジュアルアーツ) 現代芸術論 D (コミュニケーションデザイン)	2 2	現代芸術論 A (アーツ&ルーツ、地域文化計画) 現代芸術論 B (ものづくり)	2 2				
			導入科目	コンピュータ表現基礎 英語による現代美術評論 1 図学・製図演習	1 2 2	コンピュータ表現演習 デザイン基礎演習	1 2	写真基礎演習	1		
美術理論・美術史科目						近代装飾デザイン史	2	近代デザイン史演習 日本美術史 デザイン史	2 2 2		
専門基礎科目					ブックデザイン	1	英語による現代美術評論 2 DTPデザイン演習	2 1	商品計画演習 ウェブデザイン基礎演習 地域産業とデザイン デザインサーベイ	1 1 2 1	
小計			9		8		6		11	34	
専門専攻科目		コミュニケーションデザイン専攻科目	コミュニケーションデザイン論 コミュニケーションデザイン演習 1 A コミュニケーションデザイン演習 1 B コミュニケーションデザイン演習 1 C ウェブデザイン論 映像デザイン演習 3D・CG表現演習 1	2 2 2 2 2 1 1	コミュニケーションデザイン演習 1 D コミュニケーションデザイン演習 1 E コミュニケーションデザイン演習 1 F 3D・CG表現演習 2	2 2 2 1	コミュニケーションデザイン 2	5			
		卒業研究					卒業研究	10			
		小計		12		7		5		10	34
		合計		21		15		11		21	68
総計			25		19		22		22	88	

- 卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から8単位以上、  
「歴史と文化」から6単位以上、「外国語」から6単位以上を含め、計24単位以上  
【キャリア教育科目】10単位以上  
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、  
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から  
14単位以上を含め、計56単位以上  
【専門専攻科目】34単位以上  
【合計】124単位以上

※ 卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等における既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

3年次編入学生用の履修モデル（景観デザイン専攻）

…必修科目

履修年次		3年次				4年次				計	
		前期		後期		前期		後期			
区分		科目名		科目名		科目名		科目名			
共通教育科目	人間と社会					環境と生態	2				
	歴史と文化	異文化 コミュニケーション論	2			文化人類学 東北造形史	2 2				
	外国語					英会話 1	1	英会話 2	1		
	情報										
	保健体育	スポーツと健康 1	1	スポーツと健康 2	1						
	小計		3		1		7			1	12
キャリア教育科目		地域プロジェクト 演習	1	キャリアデザイン 1 情報リテラシー 2	2	キャリアデザイン 2 美術の社会 実践論	2 2				
	小計		1	3		4			0	8	
合計			4	4		11			1	20	
専門科目	総合科目	現代芸術論 C (ビジュアルアーツ) 現代芸術論 D (コミュニケーション デザイン)	2 2	現代芸術論 A (アーツ&ルーツ、 地域文化計画) 現代芸術論 B (ものづくり)	2 2						
	導入科目	英語による 現代美術評論 1 図学・製図演習	2 2	コンピュータ表現 演習 デザイン基礎演習	1 2						
	美術理論・ 美術史科目					日本建築史 1	2	日本建築史 2 日本美術史 デザイン史	2 2 2		
	専門基礎科目			デザインワークショップ 演習 デザインサーベイ	1 1	英語による 現代美術評論 2 ウェブデザイン論	2 2	地域産業と デザイン 知的財産と運用 ウェブデザイン 基礎演習	2 2 1	2 2	
	小計		8	9		6			11	34	
専門専攻科目	景観デザイン専攻	景観デザイン 演習 1 景観デザイン論 文化行政学 都市デザイン論 CAD演習 1 (建築)	4 2 2 2 2	CAD演習 2 (景観) 景観デザイン 演習 2	2 5	景観デザイン 演習 3	5				
	卒業研究							卒業研究	10		
	小計		12	7		5			10	34	
合計			20	16		11			21	68	
総計			24	20		22			22	88	

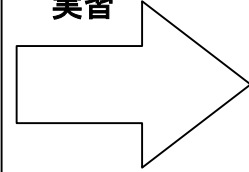
- 卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から 8 単位以上、  
「歴史と文化」から 6 単位以上、「外国語」から 6 単位以上を含め、計 24 単位以上  
【キャリア教育科目】 10 単位以上  
【専門共通科目】 総合科目から 10 単位以上、導入科目から 12 単位以上、  
美術理論・美術史科目から 12 単位以上、専門基礎科目から  
14 単位以上を含め、計 56 単位以上  
【専門専攻科目】 34 単位以上  
【合計】 124 単位以上

※ 卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等における既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

## 1 教育課程内の取組(キャリア教育科目)

- 【講義】 キャリアデザイン1・2、美術の社会実践論、起業論
- 【演習】 情報リテラシー1・2、日本語表現演習、プレゼンテーション演習1、地域プロジェクト演習
- 【実習】 学外実習(インターンシップ)

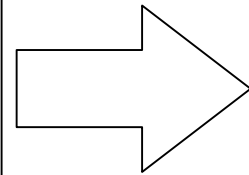
講義・演習・  
実習



## 2 教育課程外の取組

- 【定期開催、年12回程度】  
進路ガイダンス(自己分析、ポートフォリオセミナー、先輩に聞く現場論、保護者向けガイダンス等)
- 【随時開催】  
個別面談、模擬面接、求人票公開、企業訪問

企画・実施



## 3 適切な支援体制の整備

就職関連  
委員会

学生生活  
関連委員会

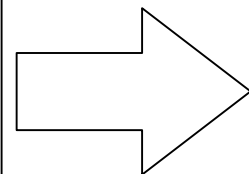
教務関連  
委員会

【連携】

【情報共有】

学生相談室《専門スタッフ》

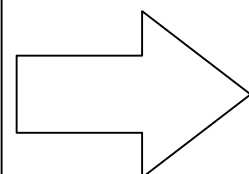
組織的支援



### 支援組織の各種取組

- 【卒業生の経験談】
- 【複合業務のパネルディスカッション】
- 【第一線のデザイナー等による講演会】
- 【就職ブログの開設】

各種取組支援



学生の社会的・職業的自立促進

秋田公立美術大学教員定年規程（案）

平成25年〇月〇日  
大学規程第〇号

（趣旨）

第1条 この規程は、教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）第8条第1項の規定に基づき、秋田公立美術大学（以下「本学」という。）の教授、准教授、講師および助教（以下「教員」という。）の定年等に関し必要な事項を定めるものとする。

（定年）

第2条 本学の教員の定年は、65歳とする。ただし、市長が特別の事情があると認めるときはこの限りではない。

（定年による退職）

第3条 本学の教員は、定年に達したときは、定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する。

附 則

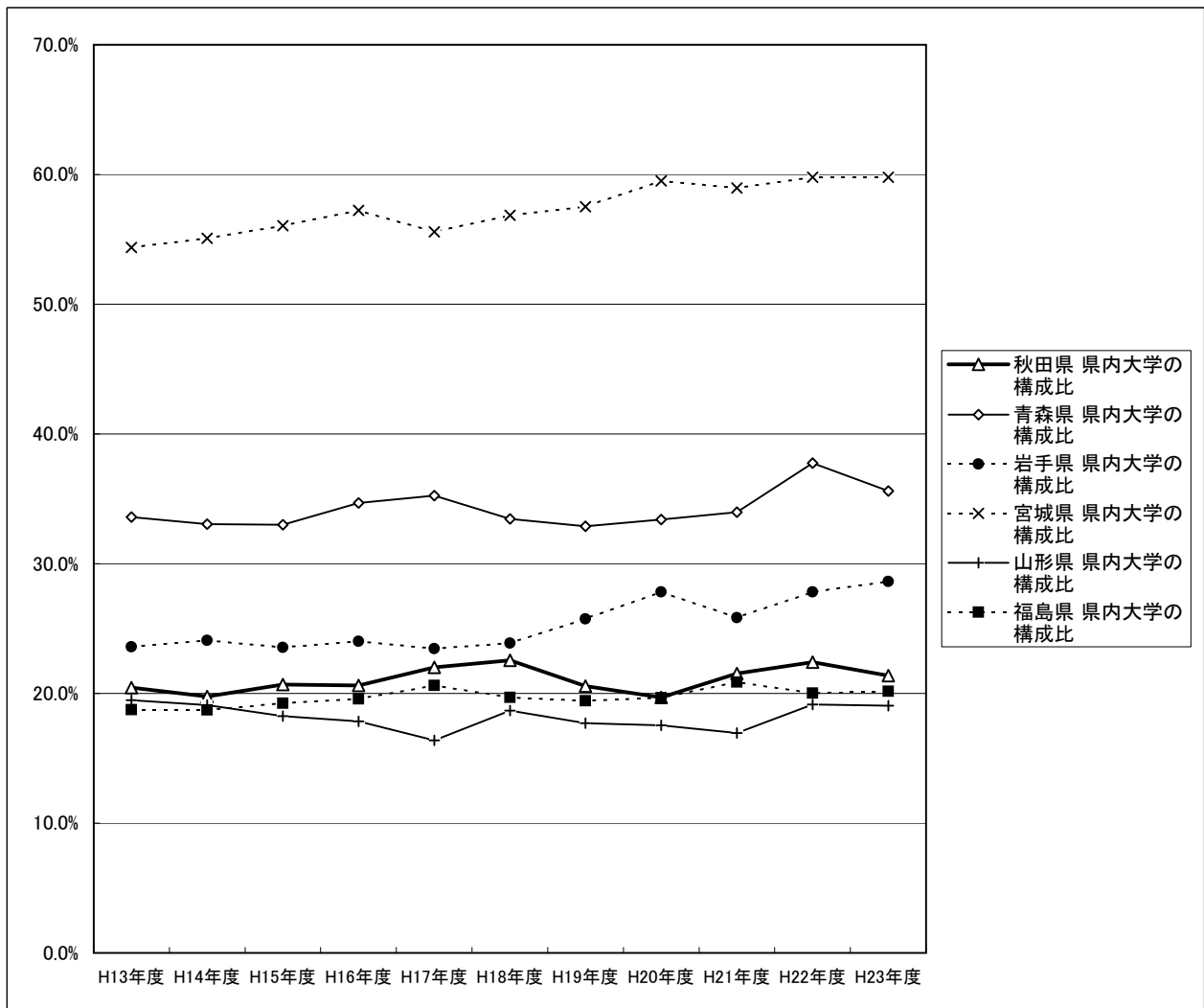
- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行の日に在職する教員で、同日から起算して4年以内に定年となる者の定年は、学年進行完成年度（本学の開設後、最初に学年進行が終了する年度をいう。）の末日におけるその者の年齢とする。



○東北各県内高校から同県内大学への進学者数およびその構成比の推移

資料37

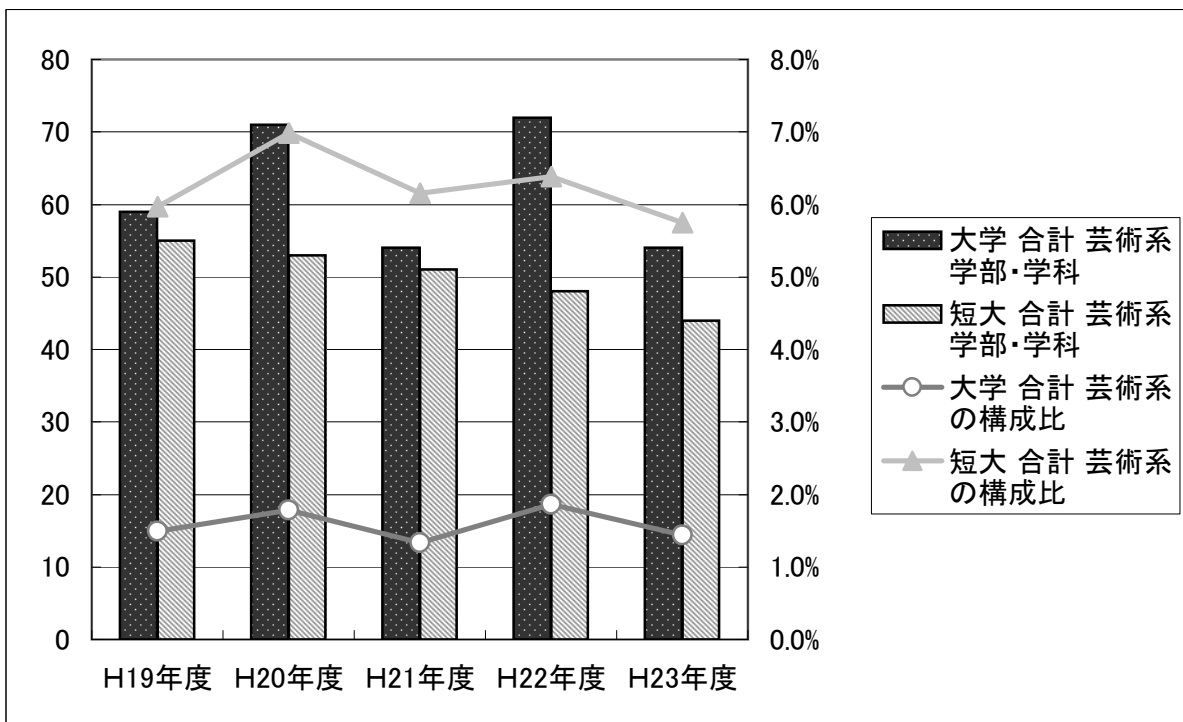
		H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
秋田県	県内大学	848	802	876	830	914	920	835	808	884	935	854
	合計	4,148	4,060	4,233	4,024	4,154	4,078	4,059	4,104	4,106	4,171	3,998
	県内大学の構成比	20.4%	19.8%	20.7%	20.6%	22.0%	22.6%	20.6%	19.7%	21.5%	22.4%	21.4%
青森県	県内大学	1,759	1,719	1,740	1,858	1,914	1,753	1,748	1,783	1,767	2,003	1,802
	合計	5,237	5,201	5,274	5,357	5,429	5,240	5,316	5,338	5,203	5,305	5,061
	県内大学の構成比	33.6%	33.1%	33.0%	34.7%	35.3%	33.5%	32.9%	33.4%	34.0%	37.8%	35.6%
岩手県	県内大学	1,165	1,144	1,127	1,126	1,109	1,151	1,235	1,337	1,242	1,357	1,375
	合計	4,939	4,750	4,785	4,687	4,730	4,820	4,798	4,804	4,806	4,878	4,801
	県内大学の構成比	23.6%	24.1%	23.6%	24.0%	23.4%	23.9%	25.7%	27.8%	25.8%	27.8%	28.6%
宮城県	県内大学	5,359	5,534	5,698	5,829	5,658	5,862	6,087	6,289	6,082	6,414	5,977
	合計	9,858	10,048	10,167	10,183	10,178	10,311	10,584	10,569	10,316	10,728	9,998
	県内大学の構成比	54.4%	55.1%	56.0%	57.2%	55.6%	56.9%	57.5%	59.5%	59.0%	59.8%	59.8%
山形県	県内大学	896	902	896	848	808	927	911	879	822	937	926
	合計	4,600	4,720	4,911	4,754	4,932	4,962	5,145	5,008	4,848	4,892	4,857
	県内大学の構成比	19.5%	19.1%	18.2%	17.8%	16.4%	18.7%	17.7%	17.6%	17.0%	19.2%	19.1%
福島県	県内大学	1,542	1,517	1,618	1,622	1,786	1,673	1,667	1,644	1,724	1,722	1,622
	合計	8,228	8,100	8,408	8,282	8,663	8,492	8,576	8,357	8,255	8,596	8,043
	県内大学の構成比	18.7%	18.7%	19.2%	19.6%	20.6%	19.7%	19.4%	19.7%	20.9%	20.0%	20.2%



※ 文部科学省「学校基本調査」を基に作成

## ○秋田県内高校(全日制課程)出身者の進学状況(学部学科別)

			H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
大学	当年度卒	芸術系学部・学科	58	68	48	70	52
		全学部・学科	3,658	3,675	3,725	3,628	3,475
		芸術系の構成比	1.6%	1.9%	1.3%	1.9%	1.5%
	過年度卒	芸術系学部・学科	1	3	6	2	2
		全学部・学科	302	300	329	240	288
		芸術系の構成比	0.3%	1.0%	1.8%	0.8%	0.7%
	合計	芸術系学部・学科	59	71	54	72	54
		全学部・学科	3960	3975	4054	3868	3763
		芸術系の構成比	1.5%	1.8%	1.3%	1.9%	1.4%
短大	当年度卒	芸術系学部・学科	54	53	51	48	42
		全学部・学科	918	755	824	751	757
		芸術系の構成比	5.9%	7.0%	6.2%	6.4%	5.5%
	過年度卒	芸術系学部・学科	1	0	0	0	2
		全学部・学科	4	4	5	1	9
		芸術系の構成比	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
	合計	芸術系学部・学科	55	53	51	48	44
		全学部・学科	922	759	829	752	766
		芸術系の構成比	6.0%	7.0%	6.2%	6.4%	5.7%

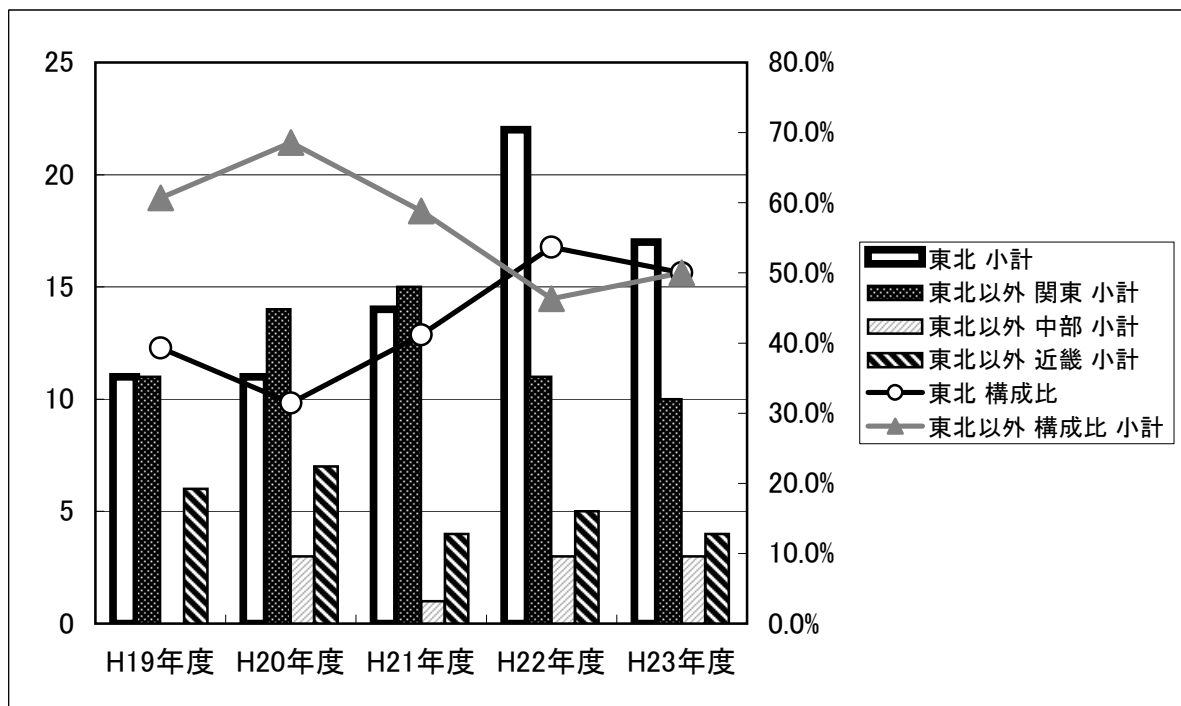


※ 秋田県教育庁「秋田県高等学校卒業者の進路状況調査」を基に作成

○秋田県内高校から芸術系大学への進学者数の推移

資料39

		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	
東北	東北芸術工科大学	11	11	14	22	17	
	小計	11	11	14	22	17	
	構成比	39.3%	31.4%	41.2%	53.7%	50.0%	
東北以外	関東	文星芸術大学	1	0	2	1	1
		東京芸術大学	1	0	0	0	1
		多摩美術大学	0	1	0	0	1
		東京工芸大学	6	11	7	5	5
		東京造形大学	0	1	0	1	0
		武蔵野美術大学	2	1	2	2	1
		女子美術大学	1	0	2	1	1
		横浜美術大学	—	—	2	1	0
		小計	11	14	15	11	10
		中部	長岡造形大学	0	2	1	0
	静岡文化芸術大学		—	—	—	2	1
	愛知県立芸術大学		0	0	0	1	0
	名古屋造形大学		0	1	0	0	1
	小計		0	3	1	3	3
	近畿	成安造形大学	0	1	0	1	0
		京都嵯峨芸術大学	0	1	0	0	0
		京都精華大学	1	2	1	1	2
		京都造形芸術大学	1	1	2	0	1
		大阪芸術大学	4	2	1	2	1
		神戸芸術工科大学	0	0	0	1	0
		宝塚造形芸術大学	0	0	0	0	0
		小計	6	7	4	5	4
	合計	17	24	20	19	17	
構成比	60.7%	68.6%	58.8%	46.3%	50.0%		
総計	28	35	34	41	34		



※ 秋田県教育庁「秋田県高等学校卒業者の進路状況調査」を基に作成

## ○専攻別専任教員一覧表

H25はH25. 4. 1現在の年齢

H29はH29. 3. 31現在の年齢

専攻等		専門分野	職・氏名	学位	H25	H29	備考
Ⅰ アーツ& ルーツ専攻	1	石彫・彫刻	准教授 芝山昌也	博士（芸術）	40	44	
	2	彫刻	准教授 皆川嘉博	修士（美術）	44	48	
	3	現代日本画	准教授 山本太郎	学士（芸術学）	38	42	
	4	文化人類学	講師 石倉敏明	修士（総合政策学） 博士単位取得後退学	38	42	
Ⅱ ビジュアル アーツ専攻	5	立体造形	教授 島屋純晴	芸術学修士	57	61	
	6	インスタレーション	教授 岩井成昭	修士（芸術学）	50	54	
	7	現代絵画（油画）・ イラストレーション	教授 小田英之	芸術学士 博士単位取得後退学	56	60	
	8	現代絵画（油画）	准教授 大谷有花	芸術学修士	35	39	
	9	テキスタイルデザイン	准教授 長沢桂一	修士（芸術）	43	47	
	10	パフォーマンス、メ ディアアート	准教授 高嶺格	学士（美術）	45	49	
	11	デジタルメディア・ アート	助教 阿部由布子	修士（教育学）	34	38	
Ⅲ ものづくり デザイン専攻	12	プロダクトデザイン	教授 今中隆介	修士（美術）	47	51	
	13	家具デザイン	教授 松本研一	芸術学士	62	66	
	14	ガラス	教授 小牟禮尊人	芸術学士	50	54	
	15	彫金	准教授 安藤康裕	修士（美術）	48	52	
	16	木工	准教授 山岡惇	修士（教育学）	44	48	
	17	漆	准教授 熊谷晃	修士（美術）	41	45	
	18	陶磁	助教 安藤郁子	修士（教育学）	43	47	
	19	染	助教 森香織	修士（美術）	39	43	

H25はH25. 4. 1現在の年齢

H29はH29. 3. 31現在の年齢

専攻等		専門分野	職・氏名	学位	H25	H29	備考	
IV コミュニケーションデザイン専攻	20	タイポグラフィー	教授 官 能 右 泰	芸術学士	58	62		
	21	構成デザイン	准教授 金 孝 卿	デザイン学博士	53	57		
	22	ウェブ・デザイン	准教授 ベ・ジンソク	博士（芸術学）	41	45		
	23	編集デザイン	准教授 水 田 圭	修士（美術）	44	48		
	24	パッケージ・デザイン	准教授 孔 鎮 烈	修士（デザイン学）	44	48		
	25	広告デザイン	准教授 坂 本 憲 信	芸術学士	51	55		
V 景観デザイン専攻	26	商品計画	教授 渡 邊 有 一	学士（造形）	64	68		
	27	景観デザイン	准教授 山 内 貴 博	博士（美術）	42	46		
	28	建築計画	准教授 小 杉 栄次郎	工学学士	44	48		
	29	デザインワークショップ	助教 菅 原 香 織	芸術学士	50	54		
VI 美術教育センター	美学・美術史・一般教養系	30	美学・デザイン史	教授 天 貝 義 教	博士（学術）	54	58	
		31	建築史	教授 澤 田 享	博士（工学）	56	60	
		32	情報リテラシー、プログラミング	教授 野 村 松 信	工学修士	53	57	
		33	東洋美術史	准教授 井 上 豪	文学修士 博士単位取得後退学	45	49	
		34	英語コミュニケーション（文芸）	准教授 大八木 敦 彦	文学修士 博士単位取得後退学	52	56	
	教員養成系	35	道德教育	教授 毛 内 嘉 威	博士（学術）	48	52	
		36	博物館学、日本美術史	教授 志 邨 匠 子	博士（文学）	46	50	
		37	美術教育（絵画）	教授 鈴 木 司	芸術学修士	55	59	
		38	教育学	准教授 池 亀 直 子	博士（社会科学）	41	45	
		39	美術科教育・工芸科教育	准教授 尾 澤 勇	教育学修士	49	53	
VII 社会貢献センター	40	地域産業振興	教授 五十嵐 潤	芸術修士	61	65		
		商品計画	教授 渡 邊 有 一		64	68	兼務	
		英語コミュニケーション（文芸）	准教授 大八木 敦 彦		52	56	兼務	

※各専攻等内の順は、職・学位順

